

登録コード	A9506900	開講年度	2026				
授業科目	農業科指導法					担当教員	飯沼 尚隆
英文授業名	Teaching Method in Agriculture						
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生	3年生
講義室	農学部 1 4 番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】農学に関する広い知識・技術を修得している				・魅力ある授業づくりについて理解し、実践的に教科指導を展開することができる。 ・教科指導において、安全・安心に配慮した指導を行うことができる。 ・職業人としての規範意識や倫理観、環境やエネルギーへの配慮、地域産業を担う人材育成等の重要性を理解し、実践的に応用することができる。		
	2 0 2 6 A3 編 (24A), 2 0 2 5 A3 編 (23A), 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】農学に関する専門的知識・技術を修得している。				・魅力ある授業づくりについて理解し、実践的に教科指導を展開することができる。 ・教科指導において、安全・安心に配慮した指導を行うことができる。 ・職業人としての規範意識や倫理観、環境やエネルギーへの配慮、地域産業を担う人材育成等の重要性を理解し、実践的に応用することができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	高等学校学習指導要領解説農業編を用いながら、以下の内容について学ぶ。 ・情報機器やデジタル教材を活用し、農業の現状・世界の食料事情・農業教育の現状や歴史的意義・先駆的農業教育の実践事例など ・高校農業教育のカリキュラムと農業高校独自の特徴的教育方法、農業教育に関連する諸法規の理念や概要など ・農業高校現場の授業参観や現場教師との交流による実践的な学習を通して、農業教育における指導のあり方						
(5)授業計画	第 1 回・農業科指導法の意義、農林業・環境分野における今日的課題 第 2 回・農業教育の歴史、国際貿易時代における日本農業～畜産業を事例に～ 第 3 回・学習指導要領と高等学校農業教育が目指すもの 第 4 回・農業教育とキャリア教育・情報教育 第 5 回・農業教育に必要な知識と理解（学校運営や農場組織） 第 6 回・教科書における基礎・基本の理解と実践、教材研究 第 7 回・農業教育における授業計画作成(情報機器の効果的な活用法) 第 8 回・農業教育における学習評価（観点別評価と評価規準） 第 9 回・長野県上伊那農業高等学校での農業教育の実践（農業高校の概要と使命） 第10回・長野県上伊那農業高等学校での農業教育の実践（生産環境） 第11回・長野県上伊那農業高等学校での農業教育の実践（園芸科学） 第12回・長野県上伊那農業高等学校での農業教育の実践（生物科学） 第13回・長野県上伊那農業高等学校での農業教育の実践（緑地創造） 第14回・長野県上伊那農業高等学校での農業教育の実践（農業クラブ活動） 第15回・体験型学習指導案の立案～酪農教育ファームを事例に～ 授業アンケート 第16回・期末試験						
(6)自主学習の指針	授業内で紹介する資料や、教育政策等の新聞・インターネット情報等に、日頃から目を通しておくこと。						
(7)成績評価の基準	与えられた課題において 講義内容をもとに説明でき（C段階）、 課題を見出して自己の意見を述べ（B段階）、 実践方法を適切に把握して高校農業教育に活かせる内容（A段階）として担当教員を感心させるもの（S段階）であるかを評価する。						
(8)事前事後学習の内容	・授業の進度に従って「高等学校学習指導要領」「高等学校学習指導要領解説（農業編）」等について、内容を整理・把握して授業に臨むこと。 ・授業の進度状況に即して課される課題レポートを作成すること。						
(9)テストやレポートの予定	内容の区切りごとのレポート、全講義終了時の課題レポート						
(10)成績評価の方法	・原則として出席率6割以下は受講者として認めない。 ・受講態度20%、内容の区切りごとのレポート60%、講義終了時の課題レポート20%						
(11)質問、相談への対応および連絡先	少人数の授業であるので、できるだけ授業内で質問相談に答えていく。メールでも対応する。						
(12)履修上の注意	将来の高校農業教育を担う教員を育てる授業であり、農業教育の魅力を知ってもらいたい。幅広く興味を持って、積極的な学習姿勢を期待する。						

【教科書】	高等学校学習指導要領・高等学校学習指導要領解説 総則編・高等学校学習指導要領解説 農業編
【参考書】	生井 兵治 他(著)「新版 農業の基礎」(農文協)2003年・農山漁村文化協会編「季刊 最新農業技術」(農文協)、「対外報告・農学教育のあり方」(日本学術会議生産農学委員会農学教育分科会)2008年 ，唐澤 豊 他著「畜産学入門」(文永堂出版)2012年，金浜耕基編著「園芸学」(文永堂出版)2009年 ，平沢正 他著「作物学」(文永堂出版)2013年